

ひと花新聞

第 112 号

令和 5 年 2 月 5 日
 発行・認定 NPO 法人釜ヶ崎支援機構
 ひと花センター
 〒557-0002
 大阪市西成区太子 1-13-15
 電話・06-6649-7890

『大阪関西国際芸術祭 2023』に行きました



はり絵 世界の国旗

昨年半年間体調不良の為なかなか作り事が出来ませんでした。今年は1枚でも多く作りたいと思っています。現在115ヶ国出来上がった。国々をばた所世界には190ヶ国ある事がわかりました。残り75ヶ国あり。これからは大変です。それぞれの国旗の模様が一般と複雑に重なると、1枚作るのに何ヶ月もかかる事が出来ると思っています。でも出来るだけ早く仕上げたいと思っています。はり絵を作っている一日がとても楽しく感じます。私のはり絵も飾ってくださる方の命が続きまして190ヶ国分ができていきます。又私のはり絵作りにも協力してくださるスタッフのみなさんには心から感謝しています。

とくじい



あかぎれに なやまされた おじいさん ゴルゴ

わらびもち マイクの声は 今いずこ

岡本太郎

ハコベさん ハコベ七草 春の草

God

昭和は遠くなりにけり (A)

昭和30年代、隆盛を誇った。東映時代の劇だが、興行担当者、次の鉄脈を握り始めてねばならなかった。当時の撮影所長で後に社長となる岡田茂は、日活の映画館で石原裕次郎の花と巻を撮っていた。岩の反志も良かった。岡田はこの種の映画は東映こそが適しているのではないかと感じた。岡田は早速作家の尾崎士郎を訪ね、大河小説『人生劇場』の映画化権を獲得し、『残侠篇』を昭和38年3月に人生劇場、飛車角のタイトルで公開した。監督、沢村勉、飛車角を鶴田浩二、若原雅夫、月形龍之介、宮川信子、高倉健、おとよを佐久間良子を配し、岡田の思惑通り、映画はヒットした。(つづく)



ひと花映画館
 あの名作に逢える…
 毎週 日曜、木曜
 13時から

登録者以外も大歓迎、マスク着用をお願いします

※ ひと花センターは、西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業として、平成25年からスタートしています。

空きビンに 水仙香る 無人駅 一平
 節分に まいてる大豆 おいしいな 島忠
 こうえんの 日差しがすは 二月かな 岡本太郎

福招く 十日戎の 祝い酒 一平

朝もやに 咲いた咲いたよ 梅花の

God

叱られて あかぎれの手を 湯につける

なへさん

新年明け早一月にして今年の冬寒・収え
 子供の頃は、みんな好きに冬の年を暮らして
 こんどは、お正月も今年も冬高合者には
 二十箇とヒトツツには気がつけながら生活し礼の
 政府は、コロナ共生の方向に舵を切った以上、自己放
 断以外に道はないから、激動の三年二十箇
 と日々を過ごすウツシは、物価の高騰に
 振り回され、さて今年も、一年に二回やら
 一方、極寒のウツシでは、連日、ミカドが打ち
 込めて、ウツシの各都市が、カレキの嵐となっ
 てる様子が放送されている。三月は、日エリ
 依るころ、進取が予想されているせいで、春
 になると、寒さだけでなく、シゲキの嵐が、懸りばかりで
 ある。ここで一句

極寒の、カレキの嵐、ロシア文字
 (一平)



ほっこり体操(右)では綱引き用の綱を使っていろいろ体を動かしました。演劇ワークショップでは誰かに成りきって即興で「記者会見」をしました。最後にミユ先生のお手製のおみくじを引きました。みんな大吉！すばらしい！



節分に 豆をいってた おばあさん

ゴロゴ

あかぎれに あぶらぬりし母 ゆめにみて

岡本太郎

苔生して

社老木

梅見頃

一平

日本軍・ツヨホールに集結
 昭和十七一月、二月十五日
 ツンガールとマレー半島の
 上陸大日でツンガールは陥落
 山下奉文軍司令は、其即軍統司令官の
 パーソナルと会見し二月十五日午後七時十五分
 フォートのフォード自動工場
 山下奉文軍司令とパーソナルと会見
 山下は待機を申し入れるパーソナルに
 「夜飯の時刻を想っているが、其食事は降伏するの、ガイ
 スカノーで言えよ」と強く想ったのちに日本でこのイース
 カノー」とリウニコ安があるになり、ラールをトルとロリで
 力が観られた、山下はこれほど、印は助成度、
 正太郎



私のよもやま話
 今年の、正月に、年賀状を貰った中に、昔の得意先の社長から、貰い
 懐かしい思い出が、こみ上げて来ました。良く、可愛いがって貰い、
 一の得意先でした。昔、韓国の、釜山に、遊びに行った時に、在る
 骨董品屋の、前を通った時に、社長が、古い青磁の壺が、目に止まり
 あれ、欲しいけど！良く、見ると、150万ウオンって、書いていました。
 すると、日本語ペラペラのオヤジが、出てきて、社長、これは、本当は
 300万ウオンします。店を、閉めるので、半額ですよ。よくある胡散臭い
 話、私が、社長に10万ウオンなら、買いやけど、止めた方がよい！！
 オヤジが、無茶言ったらいかん！怒ってました。そのまま、ホテルに
 帰り、翌朝、例のオヤジが、100万ウオンに、します。日本円で10万円
 社長、辞めときなはれ？只、社長は、骨董品には、少し知識が有り
 騙されてもいいから、わし、買うわ！私が、オヤジに、後、2万円
 負けろ！オヤジも、渋々オッケーして、8万円で、買いました。日本に
 帰り、関西学院大学の、学長に話したら、わしは、青磁には詳しい！
 品物を見て、これ、8万で買った。？無茶したらいかん！この青磁の壺
 有名な陶工の作品で、安くても、50万から100万する。！この、箱でも
 5万円はする。何も知らん素人は、怖いな～ 恥ずかしい思い出です。
 後に、社長が、沢山の土産送ったそうです。 桐井でした。

